



かさまつの子

笠松町道徳教育連絡会議

私たちは牛乳パックでペン立てを作りリバーサイドカーニバルで販売しました。自分で一生懸命作ったペン立てを買ってもらえた時は、頑張った甲斐があったなあと思いうれしかったです。他の人が作った物も売れるように大きな声で、「いらっしゃいませ」と呼びかけていたら、恥ずかしさもなくかなり多くの人に買ってもらうことができました。この活動を通して物を作っ



交流を通して学ぶ総合的な学習

一生懸命作った

ペン立てが売れたよ

たり売ったりすることの大変さ、物のありがたさなどを学ぶことができました。

5組 古田はるか

温かい気持ちになりました

牛乳パック販売で得た収益金で、お年寄りのかたに花を届けに行きました。どの家にもパンジー、イチゴ、葉ボタンを届けました。どの人からも「ありがとう」、大切に育てるわ」と温かい言葉をいただき、とても良い気分になりました。この活動を通して私は環境と人とのつながりを学び、「リサイクル」ということを改めて考えました。これから様々な活動や生活を通して、さらに環境や人とのつながりを深めていきたいと思っています。

1組 酒井萌華



五感生活経験を

総動員して課題に向かう

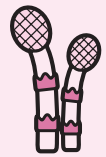
一年生は「自然との共生」を総合的な学習のテーマとして取り組んでいます。資源回収等でアルミ缶や牛乳パックを回収しており、再利用も体験できる牛乳パックを素材にして学習を進めてきました。



学習を始めたころ、地域行事がありその場で学習の成果を発表できないかと考え、始まった小物作り。どんな小物なら売れる？どんな声をかける？店の飾り付けは？いくらで販売する？収益のお金の使い道？花の苗を誰に贈る？どんな花がいい？生徒たちの豊かな発想と行動力には驚かされるばかりでした。

笠松中学校

一年学年主任 福安和行



教育委員会だより

教育電話相談

悩んだら気楽に
電話してください
郡四町教育委員会
☎245・1133

子どもたちに豊かな体験を

都市化、少子化、地域社会での人間関係の希薄化などが進む中、子どもたちの豊かな成長に欠かせない多くの人や社会、自然などと直接ふれあう様々な体験の機会が乏しくなっています。私たち大人は、子どもたちに体験の場を意図的につくり出してやる必要があります。

中学生のAさんは、初めて福祉募金活動に参加し、スーパリーの入り口に立ちました。最初は恥ずかしくて大きな声で呼びかけることができませんでした。次第に「募金をお願いします」の声は大きくなりました。お腹の底から声を出すことは、今までに感じたことのない心地良さです。募金をしてくれるかたの笑顔や「こころうさん」という声が身にしみてうれしく感じられました。大切なことは金額ではなく、その善意だと実感しました。

小学生のBさんは、教育委員会主催の自然体験活動に参加しました。活動の一つに御岳登山がありました。覚悟はしていましたが、予想以上の厳しさで途中足が何度も止まりました。同じグループの先輩に励まされながら、とうとう登頂。自分自身の持つ強さ、仲間からの「がんばれ」の励まし言葉のありがたさを感じ取りました。

家族ぐるみで自然体験やボランティアに参加したり、お子さんに体験活動ができる機会がある時に後押ししてやったり。お子さんに「豊かな体験ができるチャンス」を広げてあげてください。